

様式1 令和7年度 小金井市立小金井第四小学校 自己評価表						
学校教育目標		人権尊重の精神を基本として、広く国際社会に生きる人間として、心身ともに健康で生涯を通して学び続けることのできる児童の育成を目指す。				
つよく かしこく あたたく						
目指す学校像(ビジョン)						
【目指す学校像】		○子供が「今日も登校してよかった」と実感できる学校 ○「チーム小金井四小」の力を集結し、主体的に課題を解決していく学校 ○保護者・地域に、「学校に足を運んでよかった」と思ってもらえる学校				
【目指す児童・生徒像】		○心も体もたくましい子 ○よく考え実行する子 ○思いやりのある子				
【目指す教師像】		○子供一人一人を大切にする教師 ○その子らしさを最大限伸ばす教師 ○一人一人に適切なかわりをする教師 ○全体の奉仕者である教育公務員としての自覚と使命を果たす教師				
前年度までの学校経営上の成果と課題						
【成果】安心・安全な学校づくりについて、児童にアンケートを取り、教職員とCS委員で熟議を通して「言葉遣い」について共通した指導を行った。コミュニティ・スクールのリーフレットを作成し活動を広報することができた。						
【課題】生活指導面において、繰り返しの指導が徹底ができていないことがある。授業改革を進めていく上で、ICT機器の有効活用や「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識した実践となっていない。						
中期経営目標		短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)		成果目標(評価基準)
授業 変 革	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業変革を推進する。	全国学力・学習状況調査結果を基に、授業改善推進プランを9月末に作成する。実践と振り返りを行い、学力向上を図る。	・「授業改善推進プラン」を具現化した授業実践を全教員年間1回以上公開する。複数の教員で参観と振り返りを行い、授業改善に生かす。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満	
		「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を推進するために、ICT機器やデジタルコンテンツを有効活用する。	・デジタルコンテンツを共有した授業実践を学年間で共有し教材を蓄積する。 ・毎月1回夕会にて、デジタルコンテンツの評価と振り返りを行う。	2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満	1 児童の自己評価で、満足度70%未満	
子 供 の 権 利 の 尊 重	様々な人権課題に適切に対応できるよう、教員研修を充実させ、個々の人権感覚を高める。	人権尊重教育に係る教員研修を充実させ、いじめ、不登校支援、虐待、ヤングケアラーなど、児童の不安や悩みの早期発見、早期対応に努める。	・学期1回の教員研修において、「いじめ防止基本方針」、「小金井市子どもの権利に関する条例」を活用する。 ・教員も児童も、人権に配慮した丁寧な言葉遣いに努める。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上	4 児童の自己評価で、肯定的回答90%以上	
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 児童の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満	
	教育相談体制の充実を図る。	児童がSOSを出せる、相談しやすい体制づくりを進める。	・学期1回以上「いじめ防止・生命尊重」に関する授業を実施する。 ・相談シート、相談窓口等の相談体制を朝会や校内掲示等で周知する。	2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	
				1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満	1 児童の自己評価で、肯定的回答70%未満	
地 域 連 携	コミュニティ・スクールとして、地域と学校が協働した組織づくりに取り組む。	地域学校協働活動について、従来の活動と新規活動について学校運営協議会で検討を行いながら、地域づくりや持続可能な組織づくりを進める。	・地域コーディネーターと教職員との打ち合わせを定期的に行う。 ・活動後に振り返りを行い、持続可能な取組に改善していく。	4 地域学校協働活動としての新規及び見直し実施が4件以上	4 保護者・地域の評価で、満足度90%以上	
				3 地域学校協働活動としての新規取組を2件実施	3 保護者・地域の評価で、満足度80%以上90%未満	
		昨年度スタートした地域未来塾を今年度も継続し、新規事業等の充実を図る。そのための組織づくりを進める。	・地域学校協働本部と連携して、子供の活動の充実と関わる方の満足度の視点で組織づくりを行う。	2 地域学校協働活動としての新規取組を1件以上実施	2 保護者・地域の評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 見直し実施することができなかった	1 保護者・地域の評価で、満足度70%未満	
特 色 あ る 学 校 づ く り	四小スタンダードの確立	教職員個々の指導技術を結集させ、学習指導、生活指導のスタンダードを確立し、学校組織の安定と人材育成を図る。	・校内研究で取り組む「四小学習スタイル」に沿った授業実践に取り組む。 ・生活指導では「四小これだけは」を決めて、毎月自己評価と振り返りを行う。	4 地域未来塾としての企画を4件以上実施	4 保護者・地域の評価で、満足度90%以上	
				3 地域未来塾としての企画を3件実施	3 保護者・地域の評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 地域未来塾としての企画を1件以上実施	2 保護者・地域の評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 地域未来塾としての企画を実施できなかった	1 保護者・地域の評価で、満足度70%未満	
	環境教育の推進	小金井市気候非常事態宣言を受けて、児童の主体的な活動を促すとともに、ハチドリプロジェクトを継続する。	・資源ごみ分別、ごみ削減など、児童の主体性を促す活動を継続する。 ・地域と連携した取組について継続と発信に努め、家庭での実践を促す。	4 全教員で実施	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
				3 実施率90%以上	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 実施率80%以上	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 実施率80%未満	1 児童の自己評価で、満足度70%未満	
	体力向上の推進	全国体力・運動能力調査の結果を踏まえ、運動時間を確保し体を動かすことの心地良さを体感させる。	・週1回の朝外遊び、休み時間の外遊びを推進し、運動習慣の定着を図る。 ・長縄チャレンジ、短縄週間、持久走週間において、目標達成に向けて努力する習慣を身に付けさせる。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上	4 児童の自己評価で、満足度90%以上	
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 児童の自己評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 児童の自己評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満	1 児童の自己評価で、満足度70%未満	
	ICT機器の活用推進	教員の働き方改革と、保護者の負担軽減の視点で、配布物等のデジタル配信を更に進める。	・HPは週1回以上情報発信を行い、配布物等のHP掲載を進め、HP閲覧を推進する。 ・行事等の運営(案内、受付、アンケート)に、ICT機器を活用する。	4 学校としての実施率100%	4 保護者・地域の評価で、満足度90%以上	
				3 実施率80%以上	3 保護者・地域の評価で、満足度80%以上90%未満	
				2 実施率70%以上	2 保護者・地域の評価で、満足度70%以上80%未満	
				1 実施率70%以下	1 保護者・地域の評価で、満足度70%未満	